

いわて花巻空港の令和3年度収支（試算）について

1 公表の目的等について

空港運営に関する情報の開示など透明性を確保し、**空港運営の効率化**を図るため、平成21年に国土交通省が、**国管理空港**の収支状況を公表した。

これを受けて本県では、平成22年（平成20年度分）から、いわて花巻空港の収支を試算し公表してきたところ。

・「キャッシュフローベースの収支」

県一般会計歳入歳出決算から、いわて花巻空港に係る現金の出納を抽出し収支を把握したもの

・「貸借対照表」

いわて花巻空港の資産（土地、建物及び工作物等）や負債を一覧で示したもの

2 キャッシュフローベースの収支について（資料1）

(1) 空港整備及び維持運営など全ての経費の収支

▲13億9,500万円（R2：▲15億5,900万円、1億6,400万円の改善）

主な要因：歳入（国庫補助金、航空機燃料譲与税、着陸料収入）の増

歳出（空港等維持運営費）の減

(2) (1)のうち、維持運営の経費のみに係る収支

▲6億9,300万円（R2：▲8億3,800万円、1億4,500万円の改善）

3 貸借対照表について（資料1）

(1) 資産 420億6,500万円（R2：423億6,100万円、2億9,600万円減）

うち有形固定資産 420億6,400万円（R2：423億6,000万円、2億9,600万円減）

主な要因：建物、工作物等の減価償却による減

(2) 負債 86億1,100万円（R2：89億9,800万円、3億8,700万円減）

主な要因：地方債（県債残高）の減

(3) 純資産 334億5,500万円（R2：333億6,300万円、9,200万円増）

4 その他：経済効果の試算について（資料2）

令和3年度のいわて花巻空港を利用した観光客の旅行支出額を経済効果として試算すると、その額は18億3,700万円（R2試算結果：9億8,800万円、8億4,900万円増）となる。

令和3年度 いわて花巻空港の収支について

1 キャッシュフローベースの収支

(1) 空港整備及び維持運営など全ての経費

(金額：百万円)

項目	R2	R3	差引増減
歳入 A	812	864	52
着陸料等収入	54	79	25
土地建物等貸付料収入	45	45	0
国庫補助金等収入	210	251	41
航空機燃料譲与税	8	38	30
借入金	354	320	▲ 34
地方債償還時交付税収入	140	131	▲ 9
諸収入	0	0	0
分担金・負担金・寄付金	0	0	0
繰越金	0	0	0
歳出 B	2,370	2,188	▲ 182
空港等維持運営費等	978	758	▲ 220
土地建物借料	3	3	0
県有資産所在市町村交付金	130	130	0
空港整備事業費	408	469	61
環境対策費	0	0	0
借入金償還	851	828	▲ 23
災害復旧関連費	0	0	0
歳入歳出差額 C=A-B	▲ 1,559	▲ 1,324	235
翌年度への繰越財源 D	0	71	71
実質収支額 C-D	▲ 1,559	▲ 1,395	164
～歳入の主な変化～			
・国庫補助金の増（空港整備事業）			
・航空機燃料譲与税の増（着陸料に連動）			
・着陸料等収入の増（コロナ禍からの回復）			

(注) 表示単位未満を四捨五入しているため、増減が一致しない部分がある。

(2) (1)のうち維持運営の経費のみを抽出

(金額：百万円)

項目	R2	R3	差引増減
歳入 A	273	234	▲ 39
着陸料等収入	54	79	25
土地建物等貸付料収入	45	45	0
国庫補助金等収入	17	21	4
航空機燃料譲与税	8	38	30
借入金	149	52	▲ 97
諸収入	0	0	0
分担金・負担金・寄付金	0	0	0
繰越金	0	0	0
歳出 B	1,111	890	▲ 221
空港等維持運営費等	978	758	▲ 220
土地建物借料	3	3	0
県有資産所在市町村交付金	130	130	0
歳入歳出差額 C=A-B	▲ 838	▲ 656	182
翌年度への繰越財源 D	0	37	37
実質収支額 C-D	▲ 838	▲ 693	145
～歳出の主な変化～			
・空港等維持運営費等の減（空港特殊車両購入費用の減）			
・空港整備事業費の増（滑走路改良事業、場周柵更新事業）			

2 貸借対照表（令和4年3月31日現在）

(金額：百万円)

借方	貸方
[資産の部]	[負債の部]
1 公共資産 <u>42,065</u>	1 地方債 <u>8,415</u>
(1) 有形固定資産	2 未払金 <u>0</u>
土地 <u>38,893</u>	3 退職手当引当金 <u>196</u>
立木 <u>83</u>	負債合計 <u>8,611</u>
建物 <u>724</u>	
工作物 <u>2,075</u>	[純資産の部]
備品 <u>290</u>	純資産合計 <u>33,455</u>
建設仮勘定 <u>0</u>	
有形固定資産合計 <u>42,064</u>	
(2) 無形固定資産 <u>1</u>	
2 その他 <u>0</u>	負債・純資産合計 <u>42,065</u>
(1) 未収金 <u>0</u>	
(2) 回収不能見込額 <u>0</u>	
資産合計 <u>42,065</u>	

※ 有形固定資産の減価償却累計額は、9,997 百万円です。

令和3年度におけるいわて花巻空港の経済効果（旅行支出額）の試算について

1 試算の考え方

(1) 国際線

①外国人旅行支出額

外国人空港利用者数 × 1人当たり旅行支出額

②日本人旅行支出額

外国へ旅行する日本人空港利用者数 × 1人当たり旅行前後の支出額

(2) 国内線

①観光客旅行支出額

国内線利用の観光客数 × 1人当たり旅行支出額

2 試算結果

経済効果（旅行支出額） = **18億3,700万円** （R2：9億8,800万円）

（国際線0万円＋国内線18億3,700万円）

(1) 国際線（0万円）（R2：0万円）

国際線運休のため

(2) 国内線（18億3,700万円）（R2：9億8,800万円）

	旅行支出額		
	（千円） a=b*c	観光客数（人） ※1 b	1人当たり旅行支出額 （円）※2 c
札幌線	370,580	10,823	34,240
名古屋線	409,579	11,962	
大阪線	627,448	18,325	
福岡線	241,871	7,064	
神戸線	187,293	5,470	
計	1,836,771		

※1 観光目的の利用者（推計値）

※2 出典：観光庁「旅行・観光消費動向調査2021年年間値（確報）」

3 経済効果（旅行支出額）の推移

（単位：千円）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
国際線	1,101,022	0	0
国内線	4,510,353	988,345	1,836,771
計	5,611,375	988,345	1,836,771